

スポーツボランティアフリートークフェスタ 講演録

平成20年12月14日(日) 仙台市榴ヶ岡市民センター

報告「楽天イーグルスこの4年」

講師：楽天野球団取締役副社長 池田 敦司 氏

みなさん、こんにちは。2005年に誕生した楽天イーグルスも早いもので4年が終わりました。ボランティアの皆様のお力をかりて4年間事故もなくできたこと、有難うございました。勝負事でございますので、苦しいところですが、言い訳が多くなります。

野村監督も3年目のシーズンに入り、Aクラスに入らなければ辞めるといった不退転の決意で臨んだ開幕戦でしたがドミンゴが打たれ、その後も続いて3連敗となりました。

その後持ち直し首位にたったこともあり、交流戦もいいところまでいきましたが、7月の成績が最悪で最下位が続き、最終戦でソフトバンクをうっちゃり5位となりました。

負けた理由、その1は1点差ゲームが悪かったこと、2番目は連勝ができなかったこと、3番目は7月に1年分の借金をつくったということになります。

本来強いチームは調子の悪い選手を調子の良い選手がカバーしますが、私たちは一緒に調子を落としてしまいました。選手層が薄く、ベテランに頼らざるをえなかったということで、全体的な戦力アップが必要ということになります。

ただ野村監督のおかげで課題が見えてきました。明るい話題と言えば、岩隈の活躍があります。酷使と二段モーションで2005・2006は駄目でしたが、今年は投手三冠をとったうえ、パリーグ MVP・沢村賞のおまけまでつきました。年俵が経営的には心配なところです。(笑)

またリックも首位打者を取り、昨年の4位から5位に落ちましたが、首位との差は縮まっております。それだけ今年のパリーグは混戦でした。入場者数もほぼ右肩上がりとなり114万人を突破しました。以上が戦績のご報告です。

続きまして地域密着活動としては、小中学校訪問、マーティーキーナートの野球塾、マスケット活動などがありました。トピックスとしては夏休みの読書感想文が5000件から8000件近くに増えました。また震災の際には「がんばろう東北」のメッセージ活動、寄書き、募金、被災地のマスケット訪問を行いました。選手会でも高須会長がいち早く義捐金を申し出て、選手にも地域密着の意識を感じました。

肝心のボランティア活動ですが、7月3日には4年間で参加者通算1万人を突破しました。1試合40人前後のご参加の積み重ねで達成することができました。またニューエコステーションの設置の際には、お化粧直しなどにリーダーさんの意見を取り入れました。

ボランティアの平均年齢は50歳、回数は13回です。ゴミの量は右肩下がりで、総量・1試合平均ともに皆様のおかげで減少しました。

また観客1人あたりの量も減っております。リサイクル率、分別率も15パーセントを突破し、お客様に浸透しました。

野球界にも環境活動がオールスターを契機にして浸透しました。

NPBでも「クリーンベースボール」を掲げ、試合時間を短縮し、CO2削減に協力しましたが、楽天も年間30.5トン削減とかなり貢献できました。4年間の蓄積が確実に体質化してきた結果です。ただ12球団全体ですと目標には達成できず、グリーン電力購入を行うこととなりました。全体への発信としては、「夏スタ」においてエコブースを設置し、環境活動の手作りPOP、自家発電機体験などを行いました。

その他としては、町内会などと連動して、宮城野大通りでカラスコも参加（ゴミあさり）し、清掃活動を行いました。

観客数は、1試合平均15,959人、ビジター平均では楽天が1位となり、他球場でお客が呼べる球団となりました。

また新聞社調べでは、巨人、阪神、中日に続き、好きな球団4位となり、仙台での熱い応援が全国に広がりました。というのもTV、雑誌、新聞への取り上げられ方が多く、換算すると350億円くらいの露出度となっております。マーくんやノムさん効果でどんなに成績が悪くともTVに出ない日はなかったためでもあります。

来年こそは胴上げで終わってほしい、最後の花をきっちり飾っていただこうと思っております。

経営状況ですが、戦力補強・改修などでプロ球団はお金がかかるため、近鉄のように親会社の業績が苦しくなりと切り捨てられかねない状況にあります。

昔のジャイアンツのように莫大なTV放映権収入などもないので、親会社に頼らず、お客様に支えられた自立した健全経営を目指していきたいです。

現在は秋季キャンプ中で、オフシーズンですが、ドラフト会議・FA・トレードで新戦力が加入し、中村紀洋、小坂 誠には若手の先生としても活躍してもらいたいです。

外国人ではダレル・ラズナー、マット・チルダーズなどの投手を補強し、来年こそ今年みたいな事のないようにしたいと思います。去年は野村監督も4位でおめでとうと言われ東北のファンの温かさに驚いたと言っていました。ですが、石の上にも3年、仏の顔も3度までということで、最低でも3位、2位以上のクライマックスシリーズの出場を目標にしたいと思います。

2009年のファンクラブの加入数も昨年をこえ、砂かぶり席の改修も予定されております。初めてのオープン戦も開催され、シーズン開幕は4月3日の札幌、ホーム開幕は4月7日となっております。

5年目の来年こそは勝利の喜びを分かち合いたいと思っておりますので、変わらずのご声援をよろしく願いいたします。

お断り （この内容は全て2008年12月14日段階のものとなっております）